



～季節の花便り～

必見!!

秋の里山の代表花
“ツリフネソウ”と“白花ツリフネソウ”
非常に珍しく貴重な花



ツリフネソウとシロバナツリフネソウが混在する風景
(平成27年9月15日撮影)



白花ツリフネソウ



ピンクのツリフネソウ



キツリフネ

謹啓 初秋の候、皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

国営越後丘陵公園の「里山フィールドミュージアム」では、現在、**ツリフネソウが見頃を迎えています。**

- 秋の里山の代表花！**100万株を超える“ツリフネソウ”**が開花中。
- 「花の森」では、赤紫色のツリフネソウをはじめ、**自然界では珍しい白花のツリフネソウ**を見られる他、黄色のキツリフネをご覧いただけます。
- 白花ツリフネソウは平成21年度から、ボランティアさんと協働で増殖を進めています。

皆様には御多忙中のことと存じますが、取材並びに記事掲載の程よろしくお願ひ申し上げます。

謹言

【お問合せ先】

〒940-2082 新潟県長岡市宮本東方町字三ツ又 1950-1
国営越後丘陵公園 越後公園管理センター 企画運営グループ 担当:松田・鈴木・山野・小林
電話 0258-47-8001 FAX 0258-47-8002
携帯電話 090-7847-5001 公園HP <http://echigo-park.jp/>

● ツリフネソウ (分類:ツリフネソウ科)



【見ごろ情報】

「いやしの森」付近 : 9月下旬までが見頃

「花の森」付近: 10月上旬までが見頃

ツリフネソウは里山フィールドミュージアム内のいたるところでご覧いただけますが、特に「いやしの森」の杉林と、「花の森」のホウノキ谷三叉路からカタクリ群生地にかけての杉林に形成されている大群落がおススメです。

ツリフネソウ(釣舟草)の名前は、茶席や生け花で使う花器の「釣舟」に例えたとされています。

この特徴ある花形になったのは、マルハナバチ(写真中央)の仲間との関係が大きいと言われています。マルハナバチの仲間は花の奥にある蜜を獲得するために、長い吸蜜管を発達させました。ツリフネソウも、マルハナバチに蜜を独占させた方が、効率的な受粉のために都合が良かったようで、このような筒型に進化したと言われています(=これを「共進化関係」と言います)。

吸蜜の様子をよく観察していると、受粉の仕組みなどもわかり本当に飽きさせません。

また、熟した実に触れると、ホウセンカのように実が破裂し、様々な方向に種が飛んでいくのも面白い特徴です。



トラマルハナバチの吸蜜の様子



ツリフネソウの種子飛散の様子

● 白花ツリフネソウ (分類:ツリフネソウ科[ツリフネソウの白化個体])



【見ごろ情報】

「花の森」の一画: 10月上旬までが見頃

白花ツリフネソウは10万株に1株開花するといわれており、里山フィールドミュージアム内「花の森」のツリフネソウ群落の一画でご覧いただくことができます。

赤紫色のツリフネソウの大群落の中に、清楚さを感じさせる白花ツリフネソウが多数ちりばめられ、珍しい景観を形成しています。

平成21年に確認された“たった一株の白花株”から、公園スタッフとボランティアとの協働で増殖を進めてきました。

今ご覧いただける白花ツリフネソウは、昨年開花した個体の実生株(種から発芽した個体)が開花したものであり、その数は1,000株を超えています。

★里山見どころ散歩(ガイドウォーク)★

開催日: 9月12日(土)~11月3日(火祝)の土日祝

時間: 11:30~14:30 (受付)

※園内バスの運行時間に合わせて開催(雨天中止)

場所: 里山フィールドミュージアム

里山交流館「えちごにあん」集合

参加費: 無料(※入園料、駐車料は別途かかります)

※里山フィールドミュージアムへは、「里山口」からの入園が便利です。



白花ツリフネソウ植栽地(花の森) 平成27年9月15日撮影